

薬剤耐性菌とは？

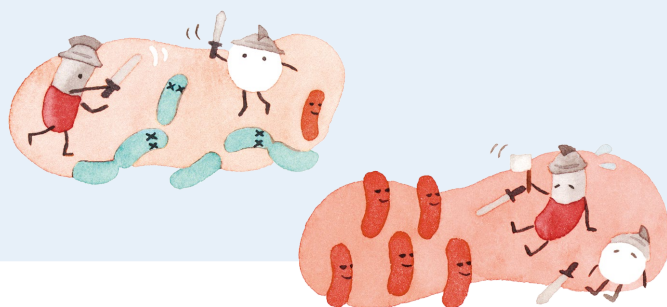
「薬剤耐性菌」とは、抗菌薬が効かない、もしくは効きにくい細菌です。私たちの体の中では無数の細菌(常在菌)がバランスを保ち健康環境を守っています。

抗菌薬を飲むと、体の中の細菌のバランスが崩れ、薬剤耐性菌が増えやすくなります。また一部の菌が、抗菌薬から逃れるために薬剤耐性菌に変化してしまうことがあります。

薬剤耐性菌を増やさないために

抗菌薬が必要な時以外は飲まないようにすることが重要です。感冒(かぜ)はウイルスの感染なので抗菌薬は効きません。

また、抗菌薬が必要と判断され処方された時は、指示されたのみ方でのみ切ってください。抗菌薬を中途半端に使用してしまうと、菌が死にきらずに耐性化することがあります。



患者のみなさまへ

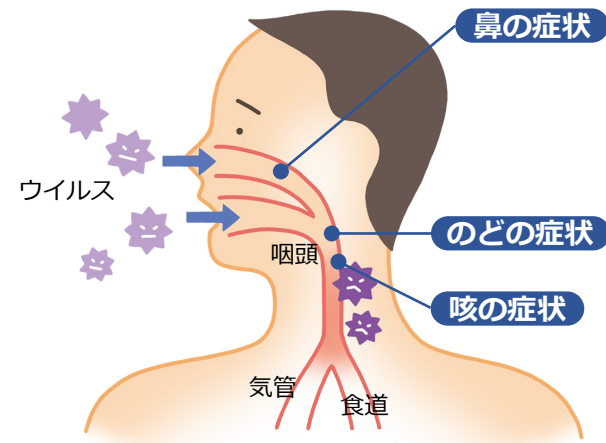
感冒(かぜ)

かぜは多くの人が年に数回かかる非常によくある病気です
たいていの場合は自然によくなります



感冒(かぜ)

かぜの主な原因はほとんどがウイルスによるものです。上気道といわれる鼻やのどの粘膜にウイルスが感染すると、鼻の症状、のどの症状、咳の症状がまんべんなく出ます。

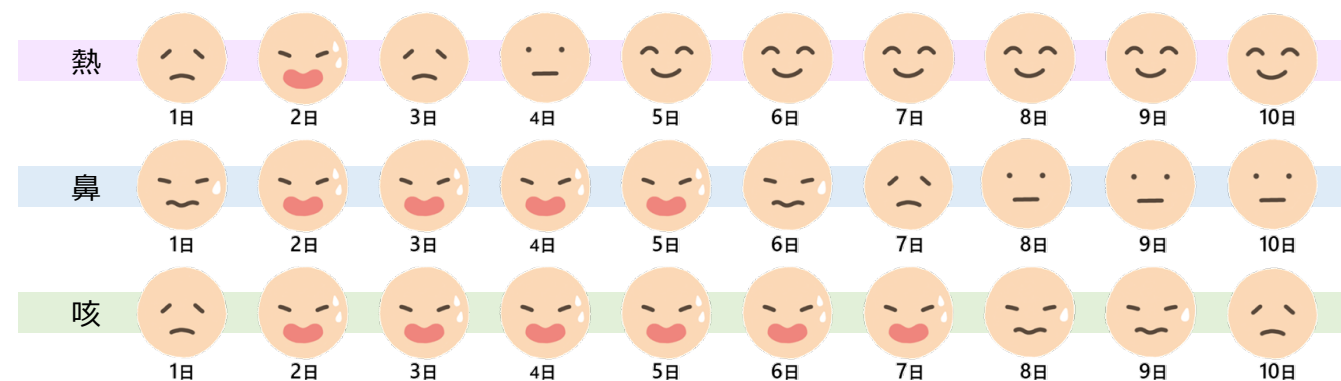


◆これからの症状は？

- ・症状が出てから3日目くらいまでは、のどの痛みや鼻水などがひどくなったり、熱が続いたりします。
- ・7-10日間でだんだん良くなっていきます。
- ・咳は3-4週間ほど残ることもあります。



症状のある人の割合の変化



咳は3~4週間ほど残る場合があります

◆治療は？

- ・ゆっくり休んで、栄養をとりましょう。
- ・熱や汗で水分が奪われます。しっかりと水分をとりましょう。
- ・熱はウイルスと戦うために出ていますが、高熱が辛い時は解熱剤をのむと少し楽になります。
- ・タバコを吸っている方は、かぜが長引くのでやめましょう。
- ・マスクを正しく着用し、手洗いをしっかりして、周りの人にうつさないように心がけましょう。

再度受診が必要な場合

最初のかぜに見えても、後から別の病気だとわかることもあります。
下記の症状に当てはまる時は、もう一度受診しましょう。

- ☐ 38℃前後の発熱が4日以上続く
- ☐ 息をすると胸が痛い
- ☐ 息苦しい
- ☐ 症状が出始めて4日以上たってもよくなる
- ☐ 食事や水分を取れなくなってきた
- ☐ 経過に不安がある

【抗菌薬とは】

抗生物質といわれることもあります。
病気の原因となる細菌を殺したり増やさなくする薬です。

【かぜに抗菌薬は効きません】

- ・かぜはウイルスの感染によるものです。
- ・ウイルスの感染症には抗菌薬は効きません。
- ・不必要に抗菌薬を使うと、抗菌薬が効きにくい細菌(薬剤耐性菌)が生まれる可能性があります。薬剤耐性菌ができると、今後、抗菌薬が必要な病気の時に使える抗菌薬が少なくなり予防や治療がうまくいかなることがあります。
- ・抗菌薬をのむと、下痢、吐き気や発疹などの副作用がでることがあります。



*免疫を低下させる薬をのんでいる方、肺や心臓に病気がある方は違った経過になることもあります。
主治医の先生とよくご相談ください。